

議会だより

しょうわ

2011.10.22

No. **151**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



22年度

町のお財布 決算を認定 ②

防災備蓄品を充実 ⑥

一般質問 ここが聞きたい ⑧

追跡 あの質問はどうなった ⑪

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議 ⑳

の成果を認定！

平成22年度決算のあらまし

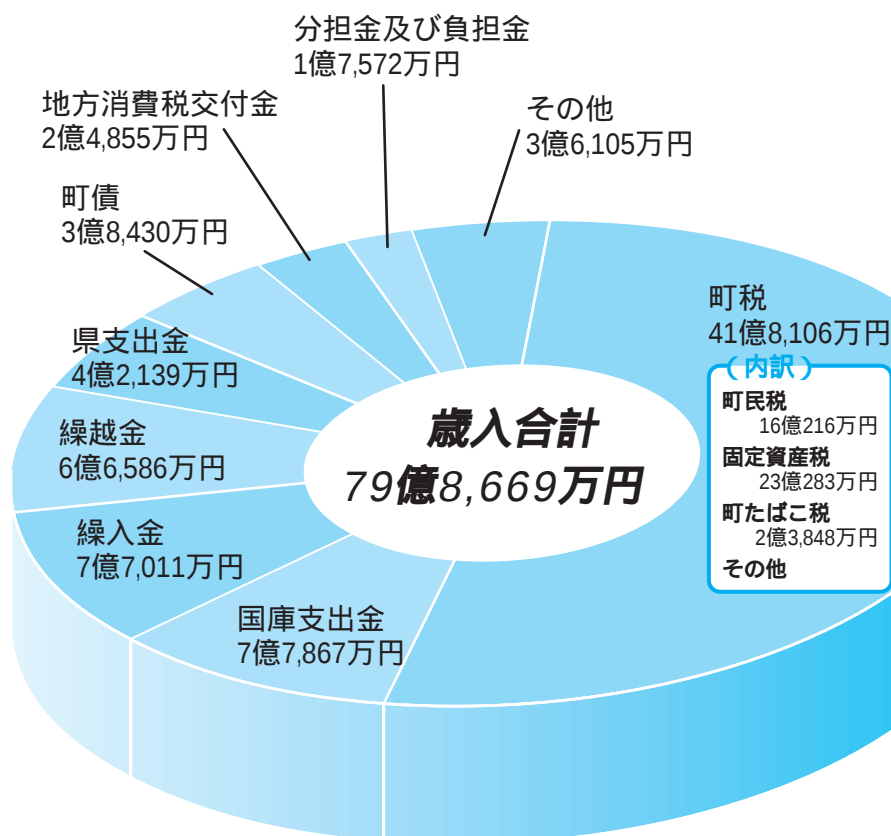
一般会計は、約75億2,876万円、特別会計は、7つの会計を合わせて、約32億8,495万円となり、合計約108億1,371万円の歳出決算となりました。21年度と比べて約6%減少しています。

これに対して歳入決算は歳出決算を約5億5,739万円上回る、約113億7,111万円となりました。税收全体では、リーマンショックのあった21年度より約6%増額になっています。

決算議会 9月定例会

平成23年9月定例会は、9月5日から16日までの12日間の会期で開かれました。町長から平成22年度の一般会計・特別会計決算8件のほか、条例1件、契約締結1件、補正予算5件の合計15件、請願1件を採択し、国への意見書を可決しました。

平成22年度一般会計決算では賛成14・反対1（深澤平助議員）で認定しました。



町債(借金)の累積残額

[一般会計]	71億3,895万円 (1人当たり 41万円)
[国保会計]	827万円 (1人当たり 474円)
[下水道事業]	63億638万円 (1人当たり 36万円)

[合計] 134億5,361万円
(1人当たり 77万円)

基金(預金)の累積残額

28億5,528万円
(1人当たり 16万円)

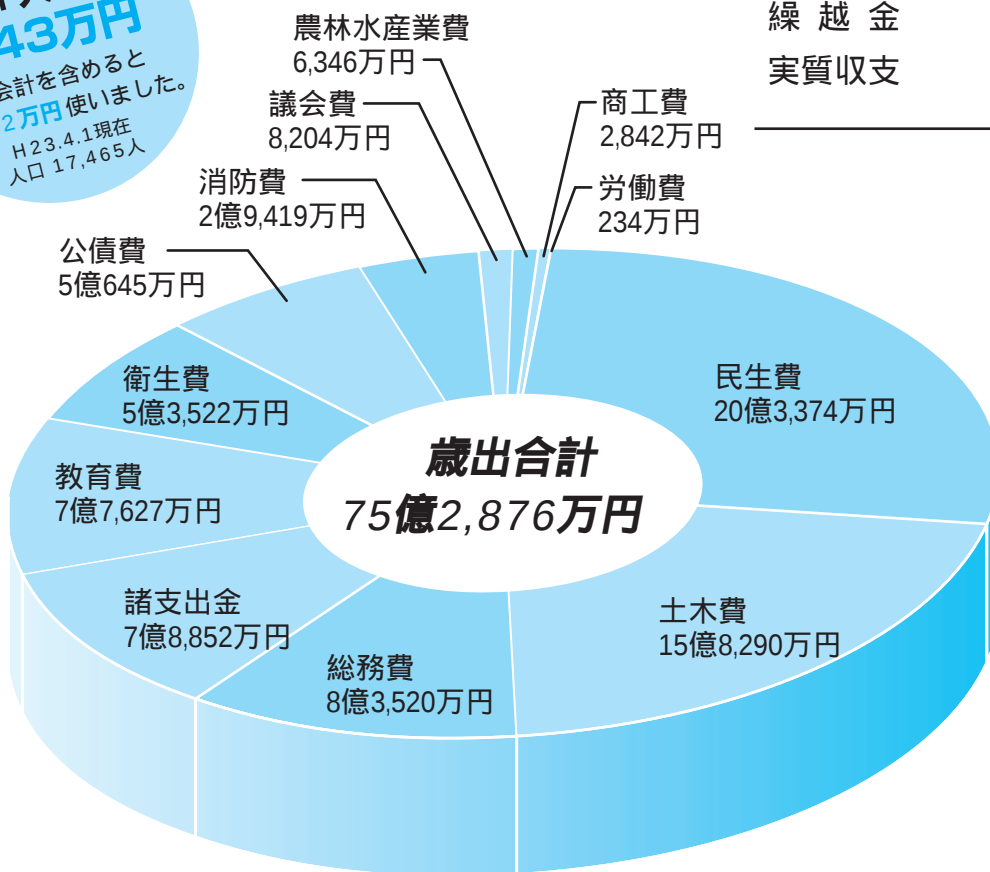
平成22年度一般会計（歳出総額）

75億2,876万円

町民1人あたり
約43万円
特別会計を含めると
約62万円使いました。
H23.4.1現在
人口 17,465人

歳入(財源)	79億8,669万円
歳出(使いみち)	75億2,876万円
繰越金	4億5,793万円
実質収支	3億4,386万円

(単位: 千円以下切捨て)



教育費



- ・小中学校費 2億5,500万円
- ・杉浦邸保存関連 4,200万円
- ・学校給食費 1億4,800万円

民生費



- ・児童館費 7,300万円
- ・保育所運営費 5億630万円
- ・障害者介護給付費 1億4,000万円

総務費



- ・地域活性化交付金 2,200万円
- ・三郡衛生組合分担金 2,200万円
- ・保養施設委託 375万円

衛生費



- ・ワクチン接種費助成 217万円
- ・太陽光システム補助金 460万円
- ・一般ごみ収集委託 5,200万円
- ・中巨摩地区広域事務組合負担金 1億9,680万円

土木費



- ・道路工事請負費 1億2,900万円
- ・常永区画整理事業費 4億8,500万円
- ・押原公園指定管理 2,300万円

消防費ほか



- ・甲府広域行政事務組合負担金 1億9,670万円
- ・防災無線デジタル化工事 4,900万円
- ・農業振興地域農地保全助成金 364万円

公債費

(借金返済)



5億600万円

諸支出金



- ・基金積立金 7億8,800万円

〈一般会計〉

このように使われました

端数を切っています

22年度
決算

特別会計も認定

一般会計とともに
審議された特別会計も
7会計全てが認定さ
れました。

21年度に比べ、下
水道事業では工事請
負費などで歳出総額
が減少、また22年度
で廃止になる老人保
健も減少し、国民健
康保険や介護保険では
医療費の大幅な増額
を受け、歳出総額が
増加しています。特
別会計総額では21年
度より約2億592
万円の減少になりま
した。

平成22年度特別会計決算

(単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	結果
国民健康保険特別会計	16億946万円	15億3,340万	全員賛成で可決
老人保健特別会計	204万円	204万円	
後期高齢者医療特別会計	1億344万円	1億285万円	
介護保険特別会計	6億1,686万円	6億1,086万円	
介護サービス特別会計	1,258万円	1,195万円	
下水道事業特別会計	10億3,385万円	10億1,880万円	
渇水対策事業特別会計	614万円	502万円	

平成22年度 財政健全化の評価は？

財政健全化を見るには、実質公債費比率・将来負担率・実質赤字比率・連結実質赤字比率の4指標があり、国では財政状況を判断するため、健全化判断比率の算定及び公表を義務付けている。なお昭和町では実質赤字比率と連結実質赤字比率は数値がないので現状では関係ない。

財政健全化判断比率（％）

	実質公債費比率	将来負担比率
昭和町	9.7	71.2

財政力指数（単年）

H20	H21	H22
1.39	1.40	1.09

地方自治体の財政力を示す指数。
3年平均で1未満だと交付団体になる。

■実質公債費比率(少ないほど良い)

町の標準財政規模に占める借金返済の割合。
18%以上は地方債の発行に知事の許可が必要で25%以上は単独事業の債権発行ができない。

■将来負担比率

町の標準財政規模に対する将来支払う負債の比率。負債が将来財政を圧迫する可能性の指標。350%以上で早期健全化団体。
標準財政規模とは...国からの補助金や借入などを除いた通常経常的な収入

22年度決算

監査委員の決算審査意見

町は大きなうねりに直面
既存の計画・事業見直しが必要

監査委員 石原 政彦
福島 正明

平成23年8月8日
から12日まで審査し
ました。

審査の結果と意見
各会計の決算は適法、
正確に処理されており、
計数的にも正確で、
内容も適正なものと
認めました。

町税が年々減収す
る厳しい財政の中で、
経費削減、事業の見
直し等により健全財
政を維持し、「もの
づくりよりひとづくり」
を主要政策として、
教育、子育て、福祉
の充実に十分な成果
が見られます。

リニア駅設置や先
行き不透明な経済情
勢など、昭和町は大
きなうねりに直面し
ており、既存の総合
計画をはじめ各種の

計画の見直しが求め
られます。今後の事
業はできるだけ国・
県の補助事業を対象
として頂きたい。

ふるさと雇用再生
事業のように町単独
事業を起こし、産業
再生を図ることも、
地域産業発展につな
がると考えられます。

世界的な景気後退、
震災、円高など危機
的な状況にある日本
経済の中、町の財政
の短期、中期、長期
計画を検証し、大型
事業、新規事業には
慎重な審査が必要で
す。

財源の確保と町民に
も分かりやすい、規
律ある財政運営を図
り、「町民参加のまち
づくり」を期待しま
す。

計画をはじめ各種の

計画をはじめ各種の

22年度
決算質疑

自動交付機 手数料を安く

河住議員

他市では自動

交付機の手数料を窓口より安く設定しているところがある。窓口業務軽減、さらなる自動交付機活用普及のためにも、考えてはどうか。

町民窓口課長 確かに他市町村で行っているところもあるので、検討をしたい。

高生連の活動は

田中議員

高生連へ補助

金を出しているが、活動が見えてこない。青少年育成会議と連動したらどうか。

生涯学習課長 ふるさとふれあい祭りの折に高校生を集め、活動をしている。もっと広報をしたい。高生連の活動は担当と話をし、町全体で取り組みたい。

施設の減免は

深澤克男議員

押原公園

でサッカーのスポ少に施設の減免を行っている。他のスポ少や町の団体には他の社会体育施設の減免があると思うが、どのように行っているのか。

教育長

基本的には団体主催のものは減免。団体における体育祭などの練習機会には施設の無料開放をしている。全て平等ではないが町の代表として、地区の方々の施設開放として減免している。

杉浦医院の 今後は

田中議員

杉浦医院が昭和町のシンボルとして素晴

らしいが、一連の土地購入から現在までと、今後どのような工事があり、いつごろ終結するのか。

生涯学習課長

21年に購

入し22年11月にプレオープン。制限付きではあるが、多くの皆さんに見学していただいている。今後は活用検討委員会が設置され、いくつか提案をいただいているので、耐震調査を行ったうえで、大勢の方に安全に使っていただけるよう整備していきたい。財政面も考慮し、早く完成させたい。また、生涯学習の活用場として提供したい。

公用車をリース にする考えは

石原議員

公用車をリー

スにする考えは。単年度に出る支出が少ないし、保険なども組み込まれていると思うが。

総務課長

今まで町長車

しかリースにしていなかった。最近国の100%補助の中で、新しく車を購入していることもあり、車の買い換

えがない状況なので、いろいろな状況も考え、検討していきたい。

下水道の今後は

三井議員

下水道地方債

の残高が63億円だが、2億4千万円借りて2億4千万円の返済、利子分1億6千万円も返済しているが、利子だけで元金は減っていない。今後の事業計画や下水道使用料の未納対策はどうなっているのか。

下水道課長

事業計画に

沿って工事を実施している。償還は、平成63年度まで。

今後の社会情勢、経済情勢にもよるが、平成33年度には下水道整備計画が終了し、借り入れ最終は33年度。返済額のピークは31年度の約5億円で、地方債残高のピークは25年度で約64億円になり、現在がほぼ残高のピーク。まだ工事の最中なので、借り入れと返済の額が大きい。今後、使用料も増加していくが、水道料金と下水道料金の一括徴収の協議も進めていく。

決算審査特別委員会



3億6,669万円 を増額

9
月定例会で
決まったこと

一般会計 全員賛成で可決

一般会計は、繰越金、臨時財政対策債などを財源として3億6,669万円を増額し、予算の総額を69億3,171万円としました。

補正の主な事業としては、防災備蓄品、太陽光発電システム補助、常永土地区画整理事業負担金などです。また、3億3,356万円を基金に積み立てました。

特別会計 全員賛成で可決

国民健康保険特別会計1億2,744万円増(総額17億344万円)

前期高齢者交付金、前年度繰越金などを財源として補正増額し、医療給付費などに充てるものです。

介護保険特別会計4,416万円増(総額6億6,112万円)

下水道事業特別会計1,041万円増(総額11億1,046万円)

渇水対策事業特別会計138万円増(総額689万円)

請 願

契 約

条例制定

・常永小学校地内の耐震性貯水槽設置工事契約
契約金額 6、741万円
・男女共同参画推進条例
男女共同参画社会基本法に基づき、施策の策定および実施のため。
全員賛成で可決

契約の相手
(有)坂本工業
(昭和町河東中島)
全員賛成で可決

30人以下学級の実現、義務教育
国庫負担制度の拡充を図る請願

(請願者) 昭和町PTA協議会
小中学校長会・教頭会

(紹介議員) 山教組中巨摩支部
長谷川幸博議員

(提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官
文部科学大臣、財務大臣

総務大臣、内閣府特命担当大臣
全員賛成で採択、意見書を国に提出

「浜岡原発」の永久停止を求める
意見書の採択を求める請願

(請願者) 平和・民主・革新を目指す昭和
町の会 代表 戸田 康

(紹介議員) 深澤平助議員

総務常任委員会にて国・県の動向を見るため
継続審査

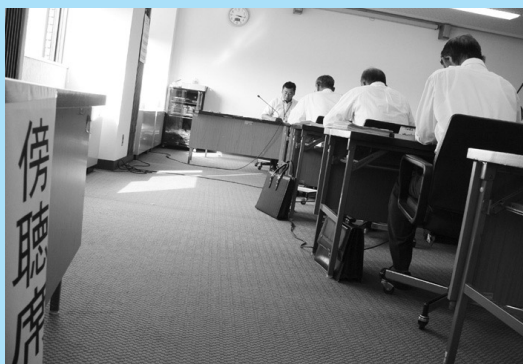
「総務常任委員会」

男女共同参画推進 条例制定！

河田議員 住民だけでなく、行政も職員の研修等をして、バックアップしながら進めてほしい。

福島議員 公募して組織を作ると、参加が男性主体になることが多い。住民みんなで声掛けして、参加を呼びかけて欲しい。

企画財政課長 議員の意見も含め行政と住民で、注意深く進めていきたい。



委員会には3人の傍聴者がありました

「産業土木常任委員会」

太陽光発電 補助金枠増額は？

遠藤議員 補正で420万円増額したのはなぜか。また、補助金の経緯として、以前、昭和町は独自で出していたが、国も出すと言うことで合計10万円近く出していたが、現段階では国も補助金を減らしたので、その分町単独で額を上げたりしないのか。

環境経済課長 原発等や区画整理地内で、太陽光設置を推進している工務店の影響もあり、例年より申請数が多く35件分追加したい。

当初35件の予定だが既に使い切り、更に16件の応募もある。補助金額は県内でも4番目に高い水準であり、補助金の目的は自然エネルギーを広く普及させるものなので、増額は考えていないが、今後の状況を見る。

「教育厚生常任委員会」

作業所設置は どんな予定？



作業所予定地

河住議員 特定非営利活動法人のパンジーが、身体障害児者の小規模作業所を設置するのに、補助金を何割出すのか、金額なのか。

河田議員 どこで行うのか。

樋口議員 場所を貸すのに家賃を取るのか。

福祉課長 役場前のATMコーナー、元山梨信用金庫と山梨信用組合があった場所に設置する予定。工事費の一部が補助金で、約18%程度。今の段階では、障害者の就労支援ということで家賃は予定していない。

「教育厚生常任委員会」

総合体育館の安全！

深澤克男議員 アリーナ天井の調査で、一部大規模な地震の場合落下のおそれがあり、それを強固に固定するということが、この調査では、他の危険性はなかったのか。

河住議員 当時の設計段階では、想定できなかったのか。

生涯学習課長 体育館やその他も調査を行ったが、特に問題は無い。当初の設計段階では建築基準法もクリアし、耐震性等も十分考慮した中で設計がされている。

「水源対策特別委員会」

井戸申請の違いは？

野中議員 井戸工事の「許可申請」と「届出申請」の違いは。

環境経済課長 取水量が10立方メートル未満は届出で事務局で受理、それ以上は工事30日前に許可申請になる。細かい内容を基準で定めてあり、ケースによっては、環境審議会が必要の有無を判断。

施策を問う ところが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q リニア駅舎建設に伴う計画は

田中 町長は3月定例会で、リニア中央新幹線駅の町内誘致に、広域的視点で取り組むと答えている。JR東海は中間駅（案）を公表したが、甲府市と中央市・昭和町地域と発表した。

リニア駅舎建設は夢でなく、数年後に迫った現実的な話に移ってきたが、早期実現・中間駅の確定に伴い、リニア駅の拠点となる本町の今後の受け入れ計画や準備体制を、どのように進めるのか。



田中 博愛 議員



リニア境川工事現場（産業土木常任委員会）

A 広域的視点で取り組む

町長 昭和町・中央市・甲斐市・甲府市の3市1町で構成する「リニア中央新幹線甲府圏域建設促進協議会」で協議しているが、東京・

名古屋間の大まかなルートと、中間駅の候補地を甲府圏域内とすることを発表した。

協議会の総会で、駅建設に伴う費用負担のあり方や、山梨県全体での協議の場の必要性などの決議がされたが、中間駅の詳細な位置等は、さらに協議していく段階で、山梨県全体、広域的な視点で取り組む必要があり、県や周辺市などと協議検討を行ってきたい。

再質問

田中 一歩踏み込んだ計画として、昭和町独自の協議会をつくるべきだが、町の考えは。

町長 リニア駅は、県土山梨の発展が一番の目的だが、昭和町がリニア駅をどう活用できるかなど、町の考えも入れるよう考えていきたい。

火災報知機設置等 新たな支援策は



いしはら たかひろ 石原 高明 議員

石原

町で昨年从今年7月までに発生した火

災は13件、死者3人、全焼した建物4棟、12世帯27人が被災している。社会的弱者といわれるすべての高齢者の気持ちを考慮し、安全・安心を最優先にした事業として、新たな支援策を構築することが必要だが、町の考えは。

A 要綱整備と 周知方法を検討

町長

火災報知器設置率は山梨県が53%と全国ワースト2位であり、本町では約60%となっている。町では期限付き火災報知器設置要綱を制定し、災害時要援護者台帳への登録を再度周知し、火災報知器の設置を推進してきたが、設置率が伸びていない状況で、再度、要綱整備と周知方法を検討し、12月議会を目的に対応していきたい。

Q 災害時要援護者 対策推進は

石原

国が示したガイドラインに基づく避難支援プラン（全体計画）策定はどのようなになっているのか、町の計画および想定する要援護者数は。

A 計画を見直す

町長

「地域防災計画」を見直す中で盛り込んでいきたい。65歳以上の高齢者2、755人（15%）、視覚・聴覚・肢体不自由児等障害者677人（4%）、乳幼児1、655人（6%）、妊産婦111人（0.6%）、外国人760人（4%）の合計5、468人を、要援護者として想定している。

Q 木造住宅耐震化は

石原

町では無料耐震診断に対し120万円までの補助を行い、耐震化を進めているが、工事中の生活の制約を緩和するための助言や、工事が大規模な場合の家賃補助など、多様な支援策を用意する必要がある。県の事業見通しに伴う耐震改修促進計画や補助枠の拡大等、町の考えは。

A 一層の住宅耐震化 を進める

町長

工事中の仮住まい家賃補助は、対象設定が難しく、財源的に困難である。今後、町の補助要綱を検討する。また、県が実施している古い木造住宅の耐震啓発ローラー作戦等、県の事業も活用するなかで、なお一層の住宅耐震化を進めたい。



木造住宅耐震を強化

Q 財政の健全化は



樋口 敏夫 議員

樋口

本町は地方交付税不交付団体だが、景気低迷による法人町民税の減少や、経常収支比率の上昇などで、財政状況が悪化している。財政の健全化に向けた基本方針と昭和町人材育成基本方針案が出されたが、パブリックコメントの状況はどうか。財政の健全化の3つの柱として、

- 1、分かりやすい財政状況の報告。
- 2、議会と行政による協働政策評価の実施。
- 3、行財政改革の推進。

事業評価の手段として、昭和町独自の評価を実施するとあるが、具体的にどのような評価か。また、行財政改革の推進では、歳入の確保の中に収入体制の確保、新たな財源確保の検討など、補助事業見直しの具体的内容は、

り上げていきたい。

収入体制の確保や財源確保は緊急の課題で、受益者負担の適正化やコンビニ収納、道路占用料の徴収等の取り組みを実施し、役場の徴収体制も、税務課徴収係を中心に県の滞納整理機構との連携で、収入の確保に努め、計画事業が終了した課や係の見直しを行う際、機構改革を実施し、徴収課の設置を検討していきたい。

補助事業見直しは、目的精査や歳出削減を行い、必要な事業施策に充当していきたい。

関連質問

A 町民意見も聞き 行革推進

町長

本年4月に「人材育成基本方針」「財政の健全化に向けた基本的な方針」案をまとめ、5月にパブリックコメントを実施し、町民に意見を求めた。今後も進捗状況等を町民に積極的に公開し、意見を伺いながら行革を進めていきたい。総合的な評価ができる制度を考えた結果、「協働政策評価」に至ったが、詳細を詰め、最適な方法につく

福島

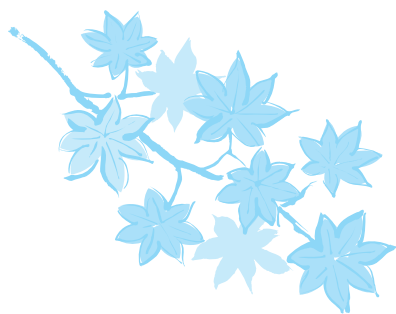
短・中・長期計画の中で、新たな財源確保は道路占用料ばかりでなく、特別な税や財源確保を考えていく必要がある。町はどのように考えているのか。

総務課長

役目を終えた事業を精査し、結果を出しながら新たな収収の検討や、事業の見直しなどを考えている。



子どもたちの未来のためにも財政健全化を



健康増進計画・食育推進計画は



ふか さわ かつ お
深澤 克男 議員

深澤

昭和町には行政栄養士（管理栄養士）が配置されていない。本年10月より平成25年3月にかけて、食育推進計画を策定するが、栄養士の役割を保健師の方々がせざるを得ず、保健師の本来業務に支障を及ぼすなど、健康増進計画推進にも影響する推進役として行政栄養士を配置し、中心的役割を担うようにすべきではないか。

町民の健康を増進する、行政栄養士の配置について、町の考えを問う。

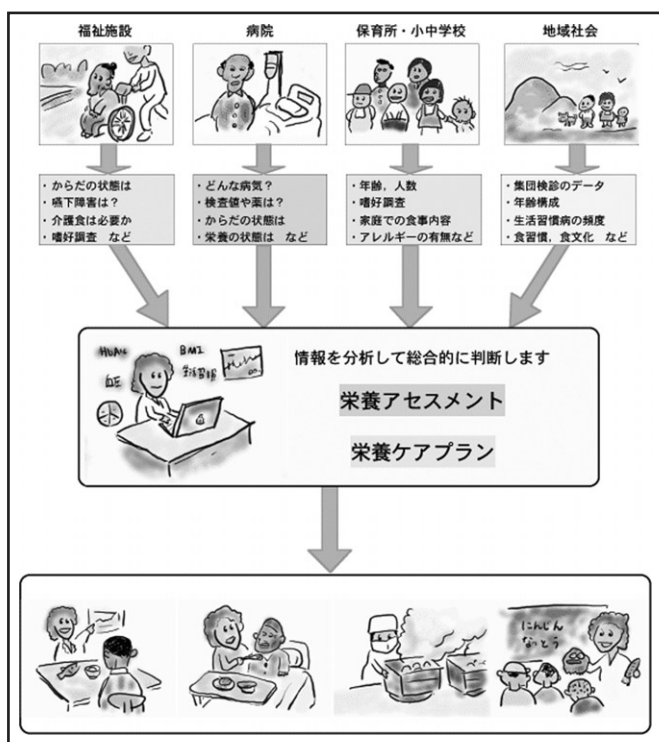
A 方向性を明確化したい

町長

管理栄養士が業務を担うのが望ましく、重要で不可欠な職種だが、行政課題や計画の進捗状況を検

証し、優先順位を付け、職員配置計画を作成しなければならぬ現状だ。

昭和町食育推進計画策定委員会を設置し、専門家の意見をいただきながら、食育推進の方向性を明確にし、配置を前向きに考えたい。



栄養士・管理栄養士の仕事

再質問

深澤

計画策定委員会から、管理栄養士を配置すべきと提言があった場合、どの時点で配置を考えるか。

総務課長

定員管理の適正化は達成しているが、町長とも相談し、なるべく早く充実していきたい。

Q 行政区改革は

深澤

常永地区区画整理事業も大詰めを迎え、大幅な人口・戸数増加が予測される。行政区改革ビジョンを、区長会や新旧住民に示すことが必要だが、町の考えは、

A 時間経過が必要

町長

区画整理事業が終了し、5～10年程度経過する中で、分区の機運が醸成され、分区運営が可能な体制に整備されたとき、町としても積極的に検討していきたい。

Q 都市計画マスタープランの見直しを

中澤

町は平成12年に都市計画マスタープラン

を作成したが、その後、リニア中央新幹線の駅建設計画が浮上するなど、都市建設に期待を寄せる人も多い。町民参加による5年・10年先を見据えた、マスタープランの見直しが必要だ。

既存の集落や新興住宅地域を中心に、周辺市と連携する集約拠点の可能性を高め、地区計画の樹立と合わせ、連動して集中することが必要だ。災害時や将来に備え、一体感ある都市計画の樹立を考える絶好の機会だが、町の考えは。



なかざわ やすお 中澤 康夫 議員

A 一体感ある計画を策定

町長

県の都市計画区域マスタープランや、町の国土利用計画の見直しを待ち、中間見直しをする予定だが、市街化区域の拡大は難しく、プランを大きく見直す必要が



区画整理で変わっていく町並み

Q 公園遊具の補修管理は

中澤

最近、区管理の遊具が区で点検・修繕など管理が危惧される中、町管理の公園まで行きたくても遠い状況もある。弱者に対するきめ細かい配慮という視点から、予算的な支援をすべきだ。

A 状況把握し検討する

町長

都市公園である押原公園や国母公園など、大小46カ所の公園を町で管理しており、町管理の遊具は、点検や修繕等を行っている。町が全て管理するのは、公平性の観点からも難しく、各地区の状況を把握し、検討していきたい。

ある。少子化で人口減少している状況では、市街化区域を増加させることはできないが、調整区域の中で土地利用を図り、市街化区域と一体感ある計画を策定する必要があると考える。



はせがわ ゆきひろ
長谷川幸廣 議員

Q 災害時の 給食センター設備は

長谷川

学校給食センターに、
防災対応型施設自家

発電機が設置してあり、災害
時には生活用水の確保や、非
常電源が確保できる。

東日本大震災後、計画停電
等で小学校5日間、中学校は
7日間、学校給食が出せなか
った。安心・安全な学校給食
の提供を目的に、自家発電機
の電力量を上げ、午後は食洗
機のみ稼動するなど、費用対
効果を考え対応してほしい。

**A 発電機の増設
など検討**

教育長

計画停電の実施
時間帯が前日の

夜の発表で、翌日の給食予定
が立てられず、やむなく停止
した。ドライシステムや県内
初のオール電化厨房を採用し、
2千食の対応や、非常時に自
家発電でおにぎりや味噌汁が
賄える炊飯設備を備えている
が、連日稼働には無理な状況
で、自家発電容量不足から断
念したが、設備を最大限活用
できるよう、行程ラインの見
直しや発電機の増設など、早
急に検討したい。



押原小給食時

**Q 災害想定時に
給食センター活用を**

長谷川

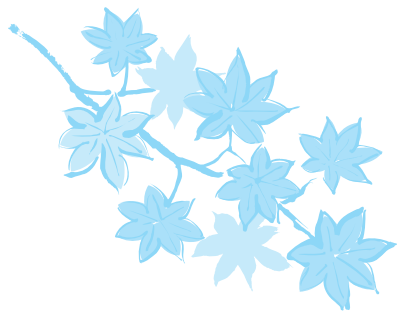
学校給食センターは
防災対応型になって
いるが、定期的に準備確認等
を行う必要がある。防災ボラ
ンティア等の活用も含め、活
用をどのように考えるのか。

**A 給食センター活用し
防災訓練実施**

町長

10月に町で県の大規
模な地震防災訓練を
予定しており、陸上自衛隊を
中心に、昭和町赤十字奉仕団
等の協力で、炊き出し訓練も
実施する。この訓練を参考に、
防災ボランティアの皆さん方
にもお手伝いいただき、学校
給食センターを活用し、防災
訓練も考えていきたい。

Q 情報サービスにおける バリアフリーは



かわだ 河田あけみ 議員

河田

目の不自由な方々は様々な印刷物の内容を確認することができないので、情報サービスの格差は大きい。最近では文書をコード化し、音声で読み上げる装置も利用されているので、お知らせや申請書類等へも、音声コード表示を普及し、情報のバリアフリー化を強化すべきと考えるが、音声コード読み上げ装置の購入状況と、研修会は行ったか、音声コード表示の活用状況と、今後の活用計画は。

A きめ細かなサービスを検討する

町長

活字文書読み上げ装置は、印刷されたSPコードを入力すると、コード内情報を音声として読み上げる、新しいコミュニケーションツールで点字やパソコンができなくても、情報を一人で見ることが出来る。障害者日常生活用具給付等



福祉課に置いてある音声コード読み上げ装置

事業実施要綱により、利用者の一部負担で購入できる。5台を購入し、企画財政課・教育委員会・図書館に各1台、福祉課に2台配置し、障害者担当者から口頭説明している。要援護者避難の手引き、第2期障害福祉計画と1人暮らしの視覚障害者に対応しており、今後の活用計画は、障害者福祉計画の策定協議の折や、各担当部署と協議していきたい。

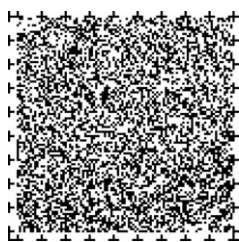
再質問

河田

視覚障害者以外でも読むことが困難な場合、CDを配布する考えはないか。防災無線が聞きづらい場合、テレフォンサービスがあるが電話番号は徹底されているのか。

町長

軽度の皆さんにも、担当課と協議し進めていきたい。防災無線はもつと周知し、情報が取りやすいように対応したい。



SPコード



制度のパフレット

Q 障害者扶養共済制度 掛け金の一部助成を

河住

障害のある方を扶養する保護者が、死亡

・重度障害になったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度で、1口加入は月2万円、2口加入で月4万円の年金が支給される。将来の安心と保障を約束する障害者扶養共済制度加入を奨励し、加入者に掛け金の一部を助成することはできないか。



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

A 協議会の意見を聞き検討したい

町長

知的障害者・身体障害手帳所持者の1級から3級までと、同程度の障害者を扶養し、一定条件を満たした保護者が加入できるが、年齢区分に応じ、高齢で加入する保護者ほど掛け金が高く設定されており、20年間の加入が基本。低所得者等との公平性を考慮し、障害福祉計画策定協議会等で意見を聞き検討したい。

Q 医療費通知の効果と対策は

河住

医療費通知は効果が上がっているか。金額だけでなく、スペースを有効に活用し、医療費減少につながる改善が必要だ。

A 共同処理で経費削減

町長

被保険者に診療を受けた医療費の総額を知らせ、医療保険の健全運営を図ることは、十分効果があると考えている。国民健康保険団体連合会に委託し作成。共同処理をしている他団体と協議をし、提案をしていきたい。

Q 借上げ型公営住宅制度は

河住

民間住宅を借上げ、公営住宅や高齢者福祉住宅として調査・研究し、活用する考えは。

A 税収回復時点で検討

町長

町財政は厳しい状況だ。今後の経済状況を勘案し、税収が回復した時点で検討したい。

Q 浜岡原発永久停止 町長の見解は

深澤

原発はひとたび事故を起こすと、放射性物質を抑える手段がなく危険が広がる。静岡県の浜岡原発は地震帯の上に建てられており、予想される東海地震が起きたら、福島原発以上の被害が予想される。県内5市3町の議会が恒久停止の意見書を政府に提出しているが、町の考えは、

**A 脱原発政策を
目指すべき**

町長

行政の最大の責務は、町民の安全と安心を守ることであり、浜岡原発は永久停止すべきと考えている。しかし、本町でも、製造業を中心とした釜無・国母の2つの工業団地や、大型店舗・自営業などの商業が低迷し、税収減や雇用の減少、住民サービスの低下につながることを予測される。これからのエネルギー政策は、日本経済や国民生活に影響を与えないよう、国を挙げ自然エネルギーの研究活用を推進し、原子力エネルギーの依存度を低くし、長期



ふかさわ へいすけ 議員 深澤 平助

的に脱原発による安全性の高いエネルギー政策を目指すべきだと考えている。

**Q 原発危険性の
リアルな学校教育を**

深澤

原発についての学校教育の中で、中学の「公民」の教科書に一定の記述がされている。原発の持っている危険性を学校教育の中でも、もっとリアルに教えるべきでは。

**A 学んだ知識を
教育現場で生かす**

教育長

福島第一原発の事故以降、放射線にどのような性質があるか、人体における影響など、正しい知識を子どもたちに伝えることが必要だ。8月に文部科

学省・原子力安全研究会の担当者を引き、町内小中学校の教職員を対象に、放射線について学ぶ教職員セミナーを校長会で企画し実施した。教職員自らが適切な学習指導のための機会を設けたが、学んだ知識を今後、教育現場で生かすよう努めていきたい。



地震の想定震源域

追跡



あの一般質問は どうなった？

議会からの要望や議員の質問に、当局がその後どのように対応し、
どうなっているのかを追跡・検証してみました。

追跡①

薬物乱用防止キャラバンカーの活用を

(平成21年3月議会 質問者：河田あけみ議員)

問 薬物乱用の怖ろしさは、健康上の問題にとどまらず、家庭崩壊や悲惨な事件の原因ともなり、社会全体の問題だと思う。国では民間団体を通じて「薬物乱用防止の専用キャラバンカー」を導入し、依頼のある市町村に活用している。昭和町の小中学校においても、活用する考えはないか。

答 本町では教育課程の保健体育に沿って、小学6年生から薬物などの正しい知識と理解を深めるため、講演会の開催など、関連機関と提携しながら対策に取り組んでいる。キャラバンカーの活用は非常に有意義なものであると捉え、取り組みの選択肢のひとつとして、学校と協議していきたい。



キャラバンカー

その後

町内の小中学校で構成される会議の中で、話し合いをしたが、キャラバンカー自体の台数が少なく、授業日程とも合わなかった。しかし、薬物防止の授業は行い、積極的に啓発に取り組んでいる。

追跡②

今回は井戸端会議での質問を取り上げました

国母駅南北往來を便利に

(平成21年10月 西条二区井戸端会議)

問 国母駅の南北通路は、地域住民にとって大変便利であり、また、甲府市の地域住民も開放を要望している。町からもJR東海に対し強く要望してほしい。

答 町としては甲府市と共同してJR東海に対し、駅南側から利用方法の改善を強く要望していきたい。



JR国母駅

その後

- ・平成21年11月 国母駅利用者調査実施(昭和高校、国母工業団地工業会)
- ・平成22年 3月 JR東海静岡支社訪問(山梨県、甲府市、昭和町担当職員)
地域の要望について説明。
- ・平成22年 9月 甲府市、昭和町で山梨県訪問
今後の進め方等について話し合っている。

研修報告

産業土木

常任委員会

下水道の浄化を学ぶ

●平成23年8月18日
(釜無川浄化センター)

釜無川浄化センターは、県都甲府市の西部に位置し、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、中央市、昭和町、市川三郷町、富士川町の7市町の汚水を一括処理する終末処理場として、平成5年4月に供用開始されました。その後、流入量の増加に伴い段階的に増設が行われ、平成21年度末の処理能力は74,000立方m/日で、汚水は標準活性汚泥法で処理され、坪川に放流されています。



浄化センター視察

を綺麗にしていく様子など、実際の水を使つての説明や、顕微鏡で生きている微生物も見学しました。屋外の下水道施設視察では、順路に沿って広大な敷

地の中を歩き、センターの方に質問をしながら見学しました。普段、下水道の最終処理についてなかなか考えることもないので、改めて見直す機会になりました。また、昭和町の人口増加に従い、流入下水水量も増加し、維持管理負担金も多くなり、維持管理の維持管理をしっかりとお任せしたいと感じました。

(委員長 田中博愛・記)

教育厚生

常任委員会

昭和町の国保運営を診る

●平成23年8月22日
(役場委員会室)

今回は改選後ということで、教育厚生常任委員だけでなく、新人議員も含め、国民健康保険の現状を、町民窓口課長から聞きました。今年度の国保加入者は、前年と比較し世帯数で46世帯の増となっています。政府の低所得者保険料軽減の意向や、高額療養費制度の見直し、非正規労働者への健康保険の適用拡大などが予想される中、年々増加する医療費と、一方新たな国保加入者は、非自発的失業により保険料収入の見込みないケースも多く、国保運営は一層厳しいものになると思われます。

根本的な制度見直しも必要ですが、早期発見・早期治療のため、検診や保健指導での受診率を向上させる



国保勉強会

と共に、医療費の適正な支出に心がけ、円滑な運営を図ることでした。

国民健康保険は、内容が非常に多岐に渡り、難しい用語等もありますが、財政状況や保険料の賦課基準の状況などの説明を受けました。

(委員長 河田あけみ・記)

教育厚生

常任委員会

●平成23年9月7日
(押原小学校)

小学校のエアコン 設置状況を確認！

9月定例会の教育厚生常任委員会終了後、各常任委員で押原小学校を視察しました。



学校クーラー設置の視察

今年の夏休みの間に、各小中学校で設置工事があり、2学期に間に合うようにエアコンが設置されています。押原小学校は、オープン教室のため、カーテン等での工夫がされ、学習環境がより一層整備されたと感じました。また、室内機の安全性はもちろん、室外機の設置場所が、児童に危険が及ばないかなどの確認も行いました。

ここ数年は猛暑を超える酷暑の中で、子どもたちは学習してきました。エアコンの設置により、快適な学習環境が整備され、これまでに学習の成果が上がっていることを期待します。

(委員長 河田あけみ・記)

総務

常任委員会

●平成23年10月3～4日
(千葉県栄町)
(茨城県大洗町)

地盤液状化の実態を視察

昭和町は最近大きな災害がありませんが、3月11日を経験したことで、井戸端会議などでも防災や液状化の質問が多くなりました。防災計画見直しが進もうとする中、実際に被災した町を訪れ、今後の昭和町の施策に生かすため視察研修を行いました。

栄町は人口約2万2千人の町で、日本初のスーパー堤防や、町単独の下水道など、先進的な事業が進んでいます。

先の東日本大震災では、住宅地の液状化による被害が513棟1499人にとばりました。町の調査で、液状化は横揺れが長いと発生しやすい、特に昔、沼や池などの埋立地で起きており、液状化で水道管に亀裂が入り、水が止まったりし

たと説明を受け、現地を視察いたしました。

大洗町は、人口約1万7千人の太平洋に面した町で、大洗リゾートアウトレットなどの観光施設をはじめ、宿泊施設もあり、年間



大洗町での研修

567万人の観光客に親しまれ、自然と両立した癒やしの場のまちづくりをしています。

大洗町では先の大震災で甚大な津波の被害を受けましたが、液状化被害もあり、船着場を埋め立てて町で分譲した地域は、地盤沈下が大きく、家が傾く問題も抱えています。また栄町と同様に水の大切さを痛感し、水の確保がいかに大事かを感じたことでした。液状化については、防災計画の中できちっとしたマニュアルをつくっておくべき、各家庭ではストープはファーンヒーターでなく石油ストープを1台確保した方がよいなどのアドバイスもいただきました。

昭和町でも、いろいろな事態を想定していく中で、私たちも今回の研修で得たことを行政の中に反映していきたいと思っています。

(委員長 三井猛・記)

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議



次の開催予定

10月15日(土) 紙漣阿原区

10月19日(水) 上河東区

11月12日(土) 西条二区

議員改選後、初めて行われた井戸端会議。委員会構成も変わり、新たなメンバーで各地域にお邪魔しました。開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが、町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は、結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵を絞っていきます。

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

河東中島区(第1回)

7月18日 河東中島区公会堂

● 出席者 河東中島区民 30人
● 参加議員 総務常任委員会

三井 猛委員長
石原高明 長谷川幸廣
塚原将司 野中敏美
萩原 馨議長
● 地元議員 遠藤辰男、中澤康夫

おもな意見・要望と議会の対応

Q 都市計画マスタープランに東花輪川河川公園の長期計画があるが進捗は？また新たなマスタープランの策定はあるのか。

A 公園は実施期間の明記はないが、将来的に計画実施がある。国土利用計画策定委員会が開催されるので、都市マスタープランに反映できるよう努めたい。

Q 山伏川の桜並木の保護は。

A 6月議会で遠藤議員が一般質問した(議会誌より150号参照)。

町長は、山伏川の桜を名所にしたいと考えており、町民の意見も考慮し対策すること。

Q 町が1億円の補助金を出し開設する直売所は、中央市・甲斐市の生産者も出店するが、その場合



山伏川の桜並木の保護は

の負担金は取らないのか。

A 町内の出店者を拡大していくため考えていない。将来、昭和町単独の出店を考えており、他市から負担金を徴収すると、既得権が生じ排除が困難になる。

Q 町内に公園は46カ所、河東中島区で2カ所管理している。区単独では修理や新設などに対応できない。町でできないか。

A 町営公園は維持管理等を行っているが、すべての公園を町で行うのは昨今の状況から困難だ。今後検討課題とし、調査を行う予定。

西条一区(第2回)

7月21日 彩の広場管理棟会議室

●出席者 西条一区民 32人
●参加議員 総務常任委員会

三井 猛委員長
石原高明 長谷川幸廣
塚原將司 野中敏美
萩原 馨議長
樋口敏夫
●地元議員

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 小中学校に冷房設備をする際、地震でも安全な設置を希望する。

また、冷房効果を高めるため扇風機の設置は。

A 工事契約時に安全に配慮した設置を行うよう指示している。室内機はビルトイン方式が壁掛けで、室外機は屋上設置。屋外の安全も配慮した場所に設置。一部を除く2階以上の教室に扇風機を設置、他は状況を見ながら判断。

Q 地震で液化化が懸念される。液化化情報が乏しいので的確な情報提供をして欲しい。

A 新たに「地域防災計画」に液化化対策等を盛り込み、地震災害等の啓発に努める。

Q 本町には放射能探知機が備えてあるのか。

A 1台寄贈されたが数値が不安定、高性能なものを1台購入し、小学校等で数値を測定する予定。県でも全市町村を対象に放射能検査実施を予定している。

Q 児童館の利用できる時間帯は、有料でもいいので時間延長してほしい。

A 現在、平日は10時から17時、土曜日は8時半から12時。その他の時間はファミリーサポート等を利用したかどうか。また時間延長は財政的に困難。

放射能探知機の備えは



河西区(第3回)

7月23日 河西区公会堂

●出席者 河西区民 40人
●参加議員 産業土木常任委員会

田中博愛委員長
中澤康夫 遠藤辰男
福島正明 林 和仁
萩原馨議長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 竜王・布施線の河西地域内の歩道バリアフリー化進捗状況は、早めに進めてほしい。

A 23年から整備予定だったが、県の予算配当が無く、町では中北建設事務所に再度要望し実施を依頼している。県も早い段階で工事着手したいと回答している。

Q 常永川河西地区に泥・葦等の繁茂がある。地域の河川清掃でできない部分の処理をお願いしたい。

A 22年6月に県に要望した。少量の堆積はあるが、流下能力に支障はないが浚渫は困難だ。草刈りは予算内で随時行っていくとのこと。

Q 昭和バイパス・コスモス街道の維持管理に名案はないか。80人くらい参加し、草取りや植栽で工夫しているが、負担が大きい。

コスモス街道の維持管理は



A 町内に花いっぱい運動協力団体がおり、環境美化に活動していただいている。手のかからない方法を地域で検討しては。地域の美化活動は続けていただきたい。

Q イオン周辺の南北線と山伏川の間、横断歩道がない。中学校とも相談して欲しい。

A 中学校も要望している。警察に要望を出し、状況を確認してから町でも確認を行い、安協・学校関係者と協議を行い、粘り強く要望を続けたい。

清水新居区(第4回)

7月29日 清水新居区公民館

●出席者 清水新居区民 40人
●参加議員 教育厚生常任委員会
河田あけみ委員長
深澤克男 深澤平助
樋口敏夫 河住保茂

●地元議員 林 和仁

おもな意見・要望と議会の対応

Q 23時まで営業のバッテリーセンターの騒音がひどい。議員や環境経済課に相談しているが、その後の対策は。騒音数値も計って欲しい。

A 7月に騒音対策をお願いし、隣接地間にシートを設置。夜間照明の苦情もあり、黒幕テントの設置をお願いした。建設時に地域の承諾書も出されており、オーナーと話し合いを継続していただき、町も取り組んでいく。騒音数値は打撃が一瞬なので、一般的な数値は出ないと思われる。(井戸端会議終了後、現地調査)

Q 昔の田園風景と違い、パチンコ店やディスコの騒音がひどい。住宅地に施設建設は可能なのか。町独自で条例を作るべきでは。



液状化危険マップの作成を

A 騒音問題は警察も立ち会って調査し、業者も対策をしている。この地域は法的に問題にならず、条例は既存の建物に規制はかけられず難しい。今後も経過を見守りたい。

Q この地区は地下水が浅く液状化の心配がある。液状化危険マップの作成など、被害減少の取り組みを議会でもしてほしい。

A 6月議会で石原議員が一般質問した(議会日より150号参照)。今回の震災を教訓に、ボーリング調査等の地質データ提供など、液状化の予防対策も「地域防災計画」に示す必要があり、液状化災害の認定基準の策定に取り組みみたいとのことだ。

飯喰区(第5回)

7月29日 飯喰区集落センター

●出席者 飯喰区民 25人
●参加議員 産業土木常任委員会
田中博愛委員長
中澤康夫 遠藤辰男
福島正明 萩原馨議長

おもな意見・要望と議会の対応

Q イオンモールの信号で右折ラインがあるのに、信号機に右折矢印がないものがある。事故が起これる前に早急な対応を警察に働きかけてほしい。

A 「交通安全・渋滞会議」でも話があつたが、警察の見解は全てを予測の段階で設置することは不可能で、イオン出店に伴い周辺に6力所の信号設置をしたことが、異例であることを理解してほしいと回答があつた。今後、町からも要望は続けていく。

Q 街路灯の設置について、区画整理地内でも地域の中から希望が出ている。組合の計画で設置と理解しているが、区の負担はどうなのか。

A 区画整理地内の歩道付道路には、全て歩道灯を設置する予定。



ごみ収集場所の確保を

防犯灯も関係各区の要望で組合負担で設置を行っている。区画整理地内の設置要望は、組合で審査し費用負担するが、地区外は通常通り町の補助制度を利用してほしい。

Q イオン南側に移転したところに新しい組ができる。ごみ収集場所の空き地がない場所の確保に支援を。

A 以前より問題になっており、環境経済課と区画整理課で候補地の立会い確認を行ったが、指摘の通りイオン南側の住宅地には適当な場所が見つからない。今後、環境保健委員を通じて関係各課と協議をお願いしたい。

押越区(第6回)

8月20日 押越区公会堂

●出席者 押越区民 31人
●参加議員 教育厚生常任委員会

河田あけみ委員長
深澤克男 深澤平助
樋口敏夫 河住保茂
萩原馨議長
●地元議員 石原高明

おもな意見・要望と議会の対応

Q リニア駅予定地が今年中に決定のようだが、昭和町議会はどうしていくのか。

A リニアの協議会の総会決議文では、中央市を中心に2市1町と話し、意見を統一していく運動をしていく考えだ。

Q 押原公園で、夏休みの夜間に花火を打ち上げたり、芝生にバイクで乗り入れたりしていた。ボランティアが注意してもきかず危険だ。夏の間だけでも夜間巡回パトロールを行えないか。

A ボランティアの方がけがなどしたら困る。事情を関係課に報告し、状況を確認してもらい対応するように申し入れる。

Q 中央道側面の木の枝や、雑草

リニア駅予定地の将来は



が伸びて整備がされていない。道路公園に町からも要望してほしい。

A 中央道建設後長年経過し、木も大きくなり除去しなければならぬ箇所も多いので、早急に町から道路公園に要望するよう申し入れる。

Q 今年から人間ドックの負担額が7千円から1万円になったが受診状況は。

A 負担金は変わったが、ほぼ例年と同じ人数の受付があった。

議会クイズ

ヒント 議会だよりを読んでください

空欄に適切な言葉を入れてください。

- 1 平成22年度の一般会計(歳出総額)は〇〇億2,876万円
- 2 平成22年度の一般会計、町民1人あたり〇〇万円使いました
- 3 総務常任委員会で千葉県栄町に〇〇化の視察。
- 4 専用キャラバンカーで〇〇乱用防止を呼びかける

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
《しめきり》

11月末日 消印有効



150号クイズの答え

16 エアコン 73 青色

Ｄ メッセージとお礼
日昭和町今年2011年
40周年をおかえします♡
まことにおめでとうございませう
これまで日昭和町がみんなの町で
みんながたがいにたすけあう町で
ありますように、心よりお祈りいた
します

◎ 議会クイズを始めたので、議会だよりを読
むのが楽しくなりました。特に150号は議員の
方々の新議会スタートに対する抱負を知る
ことが出来て、とても良かったです。
ますます、住み良い町づくりを期待
致します。



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

人との出会いとふれあい



西条二区
馬場 利彦さん

私は結婚を機に、この町に住むことになりました。最初は会社が近く通勤に便利という理由で、ようやく見つけた賃貸マンションから、この町の生活が始まりました。子どもも二人生まれ、小さいころは近くの義清神社へよく遊びに行き、鯉にエサをあげたり、境内を走り回ったことを思い出します。5年前に家を建てるとき、絶対に昭和町に建てることを目標に土地を探し、結果、現在の場所に住むことができた。今年でこの町に住んで10年が経ちました。子どもたちも改築された西条小学校に通い、素敵な環境の中で学校生活を過ごしています。私や妻も地区のスポーツクラブに入り、多くの人たちと親睦を深めることができました。義清神社の夏祭りでは、人生で初めて神輿を担ぐ経験をさせていただき、祭りを通して改めて人とのふれあいを肌で感じました。このような経験ができたのも、この町で多くの人たちとの出会いがあったからだと思っています。これから家族4人「出会い」「ふれあい」を大事に、大好きなこの町で日々楽しく、過ごしたいと思っています。

昭和町に住んで



上河東区
今澤 京子さん

私は足を悪くして15年余りになり、地域の皆様、また、福祉関係の方々にも大変お世話になっていきます。まずはお礼を申し上げますと思います。昭和町が福祉の面においても充実していることは、本当にありがたいことで、常々感謝の気持ちでいっぱいです。神奈川県川崎市で生まれ、戦火を逃れて山梨の地に生まれました。玉幡、富士見と移り住み、21歳で昭和村に嫁して以来、60年余りお世話になっていきます。子育ても終わり、主人との金婚式のお祝いもして戴きました。ありがたいことです。先日の台風15号の後、他県に住む主人の兄弟や孫たちが、昭和町は大丈夫か、と心配して連絡をくれましたが、こっちは平地だし大丈夫だよ、山や川も遠いから安心してと返信しました。本当に昭和町は災害の少ない地区で、また、商業圏にも恵まれ、すぐ近くで生活用品が手に入るの助かっています。昭和町に嫁いではや60年余、本当に大きく発展し、住みよい町になった事をつくづく感じております。足も悪く年寄りの私なので、ご迷惑もおかけいたしますが、これからもよろしくお願いいたします。



季節はめぐり、自然はすっかり秋色に染まりはじめ、公園では芝生を元気に走り回る子どもたちの声が楽しそうに響いています。

今号は新しい編集委員で2回目の広報づくりでした。トップ記事は、前年度の決算審査の内容です。紙面の都合上、質疑の全てを掲載することは不可能ですが、町の財政力を少しでも分かりやすく伝えるよう編集しました。まだまだ、経済状況は低迷すると予測される昨今、町の財政力には誰もが大きな関心を持っています。議会としては、調査・研究を怠らず、編集委員としては、どうしたら町の財政力が正しく伝わるか、さらに工夫を凝らしてまいります。

今後、町民の皆さまに読んでいただける「議会だより」編集のため、多くのご意見・ご感想を心からお待ちしております。

○広報編集委員会 (河田あけみ・記)

委員長	河住 保茂
副委員長	河田あけみ
委員	三井 猛
	林 和仁
	石原 高明
	深澤 克男

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

12月6日(金)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(河西・佐藤)